

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 104 号

2014/08/04 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを 5 本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：両市場とも先週比で上昇、ロンドン先物価格は 2%上昇

① 最高 12 月 LDN 市場 £ 1,989 /9 月 NY 市場 \$3,219 (7/25,24) 先週比 **LDN+ £ 39/NY +\$21**

② 最低：12 月 LDN 市場 £ 1,938 /9 月 NY 市場 \$3,165 (7/21) 先週比 **LDN+ £ 18/NY+\$37**

週内価格差額 (①-②)：LDN 市場 £ 51 (傾向↑) / NY 市場 \$54 (傾向↑)

週内建玉推移：LDN 市場 273, 109 枚 (7/25 終了時) ⇒ 276, 364 枚 (7/31 終了時) **+3255 枚**

NY 市場 217, 490 枚 (7/25 終了時) ⇒ 221, 206 枚 (7/31 終了時) **+3716 枚**

2、ガーナ：カカオ豆生産量、93 万トンに到達(7/30)

ガーナのカカオ豆生産量は 93 万トンに達し 2010/11 期に達成した記録的な生産量に近づいた。

いくつかの調査によると、9 月の終わりまでにさらに 5 万トンのカカオ豆が収穫されるという。

主に 7 月から 9 月までに収穫される、比較的サイズの小さいカカオ豆 (ミッドクropp) の買い付けは 7 月 4 日から公式に始まるが、一方でサイズの大きいメインクroppの買い付けは 6 月時点で 87 万 9000 トンに到達している。またガーナ国内では激しいインフレが生じており、農家は少しでも良い収入を確保する為、より高値でカカオ豆を買い取ってもらえる隣国のコートジにカカオ豆を流出させている状況が進んでいる。

カカオ産業を規制するガーナの Cocobod は、ガーナ通貨のセディが米ドルに対して下落していることより恩恵を受けているとも考えられるが、膨大な未回収の売掛金が財政を圧迫している。

立花商店がヒアリングしたところによると、上記の状況から、ミッドクroppについては、国内の磨砕業者へのカカオ豆の売り渡しは“前払い条件”となっているようだ。これにより Cocobod は海外向けの売掛金の回収に時間が掛かる分、国内向けの売掛金には与信を与えない政策をとっているようで、これは国内の磨砕業者にとっては非常に厳しい条件であり、いくつかの企業は一時操業を停止せざるえないという話も聞こえてきています。

インフレ、通貨価値下落、エルニーニョ現象の再到来で 2014/15 期の生産量は落ち込む懸念がある。2011/12 期の生産量はガーナ史上最大となったが、その背景にはコートジの内戦があり、内戦中のコートジから大量の

カカオ豆がガーナに流れ込んだ。しかし、2012/13 期にはガーナのカカオ豆生産量の通常レベルである 87 万 8500 トンへと戻った。

3、カメルーン：農家が支払い遅延についてココア委員会に不満ぶつける(7/29)

カメルーンのスミス地区のクラレンドン農業組合は、カメルーンのココア委員会に出荷されているカカオ豆に対する支払いがなされていない旨を主張している。農家は、「CIB からの支払い遅延が 2 カ月を超えており、CIB からの言い訳にも飽き飽きしている。」と述べている。

しかしながら CIB の責任者である Grey 氏は OBSERVER ONLINE 社に対して、全ての支払いは明日の 30 日までに完了する旨を告げた。Grey 氏は「支払いに時間がかかるのは仕方ない。農家からカカオ豆を集め、その後処理をして輸出する。そういった過程を経て、初めて支払いができるのだ。」と述べた。

しかしながら、農家が支払いを受ける額はごく一部のみとなり、残額は来週になる予定である。

こうした問題は 2 年前から生じており、今年の 3 月にクローズアップされた。

4、ナイジェリア：降雨によりカカオ豆の乾燥が妨げられる＝エド州(7/30)

ナイジェリア中西部のエド州から出荷されるカカオ豆は、継続的な雨が乾燥工程を妨げ、水分値が高く品質が悪い。

ナイジェリア最大のカカオ産地であるオンド州と隣接するエド州では、年間で約 5 トンのカカオ豆が生産される。この州では雨季が 5 月から始まり、10 月の下旬まで続く。

トレーダーによると、乾燥が不十分であることよりカカオ豆にカビが発生し、輸出業者はエド州産のカカオ豆を買いたがらないという。「雨が降りすぎている。特に先週は継続的に雨が降り、まったく日光の照射がなくカカオ豆の品質低下に影響している。」と述べ、さらに「我々は倉庫に 5 トンのカカオ豆を在庫させているが、水分値が高すぎる。とにかく雨がはやく止むことを願っている。そうすれば太陽が現れ、十分な乾燥ができ、カカオ豆の品質が向上するだろう。」と加えた。

他の業者や農家の中には、水分値が高く品質の悪いカカオ豆の在庫を抱えている者もいる。彼らは「8 月になると 2, 3 週間ほど雨が降らない期間が訪れるだろうが、それまではカカオ豆は売れない。太陽が出たら適切に乾燥させて、出荷したい。」と述べた。

あるトレーダーによると、エド州で取れたカカオ豆の水分値は約 15%で、通常の水準である 7%（またはそれ以下）と比較すると 2 倍も高くなっている。この 7%という水準は買い付け業者の中で国際的に受け入れられている。

またナイジェリアでは、Calabar 港以外の港からカカオ豆を輸出する際に課徴金を支払う取り決めがあるが、それについて現在話し合いが行われている。

その課徴金に関する議会が開催される予定であったが、延期されることとなった。議会が延期されている間は、トン当たり 5000 ナイラ(\$29.4)の課徴金無しで輸出することが可能となっている。

クロスリバー州の農業部門長官である James 氏は「この課徴金制度の目的は、カカオ豆輸出業者になるべく Calabar 港から出荷させて、Calabar 港の再生を図ろうとするものである。またナイジェリア政府としては、この州に圧砕工場も建設するなど全体的に強化を図りたいと考えている。」と述べた。

5、ガーナ：農家、病害への対策について Cocobod に支援を要請(7/28)

カカオ農家は Cocobod に対し、Cocoa Swollen-Shoot ウイルス(CSSV)由来の病害を撲滅する為の特別なプログラムを、緊急で始動させることを強く求めている。

CSSV に侵されたカカオ樹木の幹



2006 年～2010 年の間、2800 万本ものカカオの樹木が病害によって枯死している。

近年では、世界のカカオ豆生産量の 15%が病害により減少している。中でもこの CSSV 病は 1936 年に初めてガーナで発見され、その後トーゴ、ナイジェリアへと広がっていった。

すでに 2 億本ものカカオが被害を受け枯死していった。

アシャンティ州の Atwima-Mponua 地区の一部の農家は、Cocobod の中の CSSV 病の対策を行う部門に対して、この病害と闘うための支援を得ることを求めている。CSSV 病を収束させないとカカオ豆の生産量に悪影響をもたらしてしまう。

この地域では過去にブラックポッド病やカプシッド病が蔓延し農家が苦しんだ経緯があり、農民たちは CSSV 病対策の適切な肥料や化学薬品を求めている。

現状、Cocobod との合意内容では、彼らは肥料や化学薬品を買い求める為に長距離の移動を強いられており、ほとんど助けになっていない。

農業組合の代表である Nana Yaw Bronya 氏は「殺虫剤などの化学薬品を購入しようとする、その中間にいる取扱業者が利益を多くとっている。」と述べた。

また彼は「Cocobod はカカオ豆生産量の大幅な上昇を実現することを決定した。それにより、選ばれた農家に対して無料で殺虫剤などを支給する特別なプロジェクトを推進している。」と述べた。

Atwima-Mponua, Nwabiagya, Atwima-Kwanwoma, Ahafo-Ano 地区の 800 件ものカカオ農家が、合計で 3400

袋の殺虫剤を供給された。

6、アジア：夏季休暇の中、カカオ豆先物価格急上昇＝バターレシオは変動なし(8/2)

- ・バターレシオは殆ど変動が無く 2.6~2.63 にて推移
- ・パウダー価格は薄商いにより変動幅が大きくなっている
- ・カカオ豆相場は過去 3 年で高い水準となっている

今週、ココアバターとパウダーがチョコレート製造メーカーに売れた数量は多くなかったものの、マーケットはかろうじて強気を保ったままである。その理由としては夏季休暇とカカオ豆価格の高値張り付きにある。ロンドンのカカオ豆先物は 2011 年 7 月以来の高値まで上昇しているが、これは豆の需要とカカオ関連製品への需要が引き続き強いためと思われる。

ココアバターレシオは先週から殆ど変わらず、ロンドン先物価格に対し 2.47~2.5、NY 先物に対し 2.63 となった。末端のメーカーからはバター需要があるものの商社筋は今のところ、先行きを非常に慎重に見ており焦って動く様子はないとの情報がある。

シンガポールのディーラーは、「最近の市況は奇妙とも言えるほど高値で、完全に実需ではなく投機的要素で上昇しているように思える。」と述べた。

また、ある市況関係者によると「圧砕業者によって、パウダー在庫が積みあがったにもかかわらず、第 2 四半期の圧砕高がアジアで 5.2%増加したことはトレーダーを驚かせている。」と述べた。アジアの成長率は欧米を上回っており、トレーダー筋によればインドネシアの圧砕設備増加がマレーシア、シンガポールの工場の圧砕削減を相殺しているようだ。

業界で一般的に認知されていることは、パウダーの在庫水準が高いということだ。

実需が多くないので、工場を稼働させる必要は無いように思えるが、なぜか圧砕量は増えている。

この背景にある理由としては、圧砕業者が期先の契約を積み増そうとしていることが考えられる。

ココアパウダーの価格はメーカーによってばらつきがあり \$1500~\$2100 までと幅広いが、この理由は薄商いに起因する。トレーダーは「今週、バターへの需要がパラパラと見受けられるかもしれないが、ロンドンの高い先物価格がある為にこれ以上バターレシオが上がるとは考えにくい。」と述べた。一般的に、カカオ豆先物価格とバターレシオはどちらかが上がれば、もう一方が下がる傾向にある。

《今週のカカオ豆 ホンジュラス/MAYAN RED GOLDEN-2》

立花商店で取り扱うカカオ豆、またサンプルでテイスティングをしたカカオ豆をご紹介します。

今回は先週ご紹介した品種まで正確に特定し管理育成されている高級グルメカカオの生産者の取り組みについてご紹介いたします。

◎特定品種の増産

こちらの生産者では特定品種のカカオを増やすためには接ぎ木の方法を取っています。種から植えて増産をさせようとする、発芽をして成長していく過程で遺伝情報の様々な特性が外部に現れてしまい、元の木とは異なる味や特性を持ったカカオに育ってしまいます。そのため元の品種の木(英語では Mother Tree と呼ぶ)から接ぎ木に使用する穂木を採取し、それを力強く育てている苗床、台木(英語では Daughter Tree と呼ぶ)に接ぎ木をする方法を採用しています。



苗床の準備のために土を選別し、手入れをします。



台木は3-4カ月で育ちます。



土を袋に詰めます。



冷蔵状態で紙に包まれた穂木を用意します。



生育状態のいい木から採った台木にするための種を撒きます。



知識を持った専門家が接ぎ木をします。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp